

# がんサポ通信

第23号  
平成26年12月10日  
発行



## 平成26年度第3回緩和ケア学習会を開催しました。

11月7日に岩手県立胆沢病院 管理栄養士の蛇口真理子先生をお招きし『食べる喜びを支える緩和ケアへの取り組み』と題して、勉強会を実施しました。

参加者は68名(うち院外13名)で職種を問わず多数ご参加いただきました。

がんという病気が栄養に関わってくることとして、気持ちの面が大きく、食べることでいのち(栄養)とところを支えるということを学びました。提供している、食事の紹介もあり、器を工夫したり、食事形態を一口大にすることなどの工夫が、食べることの満足感につながっているなど、食べる量よりも、おいしいとすることが大切ということを教えてくださいました。

患者さんの紹介、エピソードも交えたお話もあり、分かりやすく、有意義な講義でした。



## 平成26年度第2回地域連携緩和ケア協議会を開催

10月22日18時30分より当院第2会議室において地域連携緩和ケア協議会を開催しました。参加者は、北庄内管内の訪問診療をしている医師をはじめ、看護師、訪問看護ステーション職員、薬剤師、介護支援専門員と、当院の職員合計18名の参加がありました。



今回は「在宅緩和ケア地域連携パスについて」の説明と、「ニチイケアセンターこあら訪問看護ステーション」から症例をご提示いただき、活発な意見交換がされました。

この会は年3回行っており、次回は2月18日に開催します。

緩和ケアの申し込みお問合せは緩和ケアリンクナースまたはがん診療支援室へ(内線:2710)